

みなみかぜ

だよい

平成
二十九年

六月号



あくまき作り

毎年恒例のあくまき作りを五月八日(月)に実施しました。

最初はあまり興味を示さなかった利用者様も竹皮と餅米を目の前に自然と手が動いて竹皮に餅米を包んだり、竹皮を細く裂いてあくまきを絞る紐を作られていました。昔は家族が多く三升、多い人は八升と皆で一日がかりで作っていたと話をされ、昔を懐かしみながら楽しくあくまき作りができました。

おやつに皆で作ったあくまきが出され、きなこに砂糖を混ぜておいしくいただきました。出来栄は上々でした。来年もあくまき作りを実施したいと思います。



デイ 植え付け

デイケア利用者様の中に、二人の野菜作りの名人がいらっしゃいます。

かぼちゃ作りの名人にかぼちゃを二株、トマト作りの名人に本人の意向で桃太郎という品種を二株植えました。

デイケア利用の日に肥料のやり方や水のやり方、不要な芽の積み方など手ほどきを受けながら日に日に成長する野菜が実り美味しいかぼちゃとトマトが出来るようにみんなで見守りたいと思います。お二人の野菜を見る目が輝いているように見える今日この頃です。



防火訓練特集

五月二十五日午後二時から約一時間、昼間想定での防火訓練を実施しました。訓練参加者それぞれに訓練を終えての感想を聞いてきました。

(M氏 サイレンの音と共に避難訓練が始まり、初期消火訓練・非常放送訓練、通報訓練と続いて、利用者様を指定の場所まで避難誘導を行いました。病院からの応援の方で一番早い方は四分弱という速さで応援に駆け付けてくれました。利用者様を一人一人丁寧に安心させるよう声掛けも行いながら安全に誘導してくださいました。おかげさまで、誰も怪我をする事無く無事避難訓練を終える事ができました。火災は起きない起こさせないに越したことはありませんが、もしもの時に迅速に動けるよう今後も防火安全対策に努めていきたいと思えます。

(M氏 毎年実施されていますが、個人的には四年ぶりの訓練参加でも緊張し、思うように手足が動きませんでした。火災発見から初期消火、利用者様を安全かつ迅速に避難誘導すること、周りの人に大きな声での声かけ、スタッフ同志の連携の重要性を学びました。また、避難誘導だけに気をとられて、トイレに入っている利用者様もおられ反省するところでした。

(T氏 私は、みなみかぜに入職して四回目の防火訓練でしたが、毎回緊張しています。警報が鳴り最初に出火元を発見、メンバーに通報し利用者様の避難を始めました。昼間想定での訓練だったので他スタッフや病院からの応援も来て頂き、事故や怪我をする事無く避難する事ができました。最後に消防署の方から「火事だー」と叫ぶ声が小さくて聞こえなかったと指摘がありました。他は良く出来ていたと、お褒めの言葉を頂きました。声の小さかった事が私の今後の課題となりました。

(I氏 私は事務所よりの初期消火及び避難誘導の担当として訓練に参加しました。独特の緊張感の中、火災警報を合図に訓練が始まりました。ヘルメットを被り、消火器を片手に出火場所の確認。リーダーの指示を受け消火栓での初期消火を行い、その後は避難誘導を行いました。

訓練参加者それぞれが落ち着いて対応できていた為、けが人も無く、無事に訓練を終える事ができました。今回の訓練の反省を活かし、今後も防災意識を高めていきたいと思えます。

夏祭りのご案内

七月二十八日に夏祭りを開催致します。多くのご参加お待ちしております。